

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○

企業の概要

企業・団体名	サンダーバード株式会社	本社所在地	群馬県
業種	情報通信業	総従業員数	5名
事業概要	ホームページの制作・保守管理 ドローンを使った空撮、システム開発		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク担当部署	総務部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	4名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

当社は創業当時(2015年6月)からテレワークを導入し、育児や介護と仕事のバランスを取らないといけない方、障がいのある当事者の雇用のために取り組んできました。

2018年2月より従業員を雇用し、自身以外にも在宅勤務を開始しました。

テレワークの概要・特徴

- ・テレワーク制度の概要・特徴
基本的に社員は全員テレワーク(在宅勤務、モバイルワーク)を実施しています。
- ・テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点
仕事の依頼の仕方、進捗管理など、齟齬が生まれないようコミュニケーションを綿密にすることを心がけてます。
- ・テレワークでの長時間労働を防ぐための具体的な取組
コミュニケーションをとるチャットツールで勤怠管理・オンライン／オフラインの状況を管理することで長時間労働を監視し、防止しています。
- ・その他、今後テレワークを導入する団体の参考になる知見 等
メールではなく、チャットツールを活用することでプロジェクトの管理もしやすくなると思います。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果やエピソード
子どもがいる主婦、通院が必要な障がいのあるエンジニアにとって在宅勤務やフレックス制は働きやすいという声をもらいました。
また、それにより働くモチベーションが高まり、意欲に繋がるという声もありました。
- ・テレワークの導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果
当社でも、都内の仕事(案件)をインターネットや電話のみで受注することがあり、一度も会わないまま群馬にて業務が可能であり、「地方には仕事がない」という時代ではないと考えています。
- ・その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例
障がいがあっても働けるという可能性を示すことになっていると考えています。